

陳情・意見書案の審査結果

<地域医療を守る医療機関の事業と経営維持のため、

診療報酬の期中改定を求める陳情、意見書>

社会医療法人 南信勤労者医療協会から提出された陳情は、昨年度の診療報酬改定が実質マイナスだったことから、全国で医療機関の経営困難な状況が深刻化している実情を訴えるものです。このままでは地域医療の存続が危ぶまれ、その解決のために、国に対し診療報酬の期中改定を求める内容です。

陳情採択を受けた意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

賛成多数で可決

反対 期中改定は国の財政や保健医療制度の安定性を損なう。各種保険者の財政状況も含め、総合的に判断すべきもの。

賛成 「このままではある日突然、病院がなくなる」という言葉に象徴されるような医療現場からの声を深刻に受け止めるべき。



<OTC 類似薬の保険適用除外の議論を慎重に進めることを求める意見書>

賛成多数で可決

反対 すべてのOTC類似薬を保険から外そうとはしていない。軽度な身体の異常時に、身近で便利な安全性が確認された市販薬を購入し、セルフメディケーションを進めるもの。

賛成 アレルギー性鼻炎や皮膚炎、喘息などを持つ患者さんから、負担増への心配の声があがっている。命と健康に多大な影響を及ぼすことから除外はすべきでない。

国において、医療費削減に向け、風邪薬や胃腸薬、湿布薬など市販薬と効能の似たOTC類似薬の保険適用除外が議論されています。

しかし、自己判断で市販薬を使用することによる危険の大きさや、処方薬より高い市販薬の購入のための負担増などに対して、不安や疑問の声があがっています。

慎重な議論を求める意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

<米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書>

賛成多数で可決

米の価格が上昇し、家計を圧迫しています。政府に対し、生産者、消費者双方にとって納得のできる米の価格の抑制に努めるとともに、今後の米の生産・販売の推進に向けて、各産地が全国の需要に応じた生産量を確保できるように、密な意見交換やきめ細やかな情報提供を行うことを求める内容です。野沢弘子議員から提案されました。



<日本学術会議を法人化する法律の撤回を求める意見書>

賛成少数で否決

日本学術会議を特殊法人化する法律が国会で可決、成立しました。しかし、「特殊法人化」による新組織は首相の監督の下に置かれ、独立性が損なわれ、政府の意向に沿って活動する組織になりかねず、これまでの「科学者の代表機関」の役割は失われてしまいます。

政府に対し、この法律の撤回を求める内容で、竹元完奈議員から提案されました。

反対 既に成立した法案の撤回を求めることができるのか。意見書の内容は既に国会審議前に提出されており説得力が無い。下諏訪町議会が意見書を出す意義を感じない。

賛成 日本学術会議は、かつての戦争の反省から「平和のために科学を生かす」として設立されたのに、「平和」の文字は消されてしまった。科学者に戦争への協力を強いるものだ。

陳情・意見書案の審査結果

陳情ってなに？

国や地方公共団体などの公共機関に対して、その実情を訴え、一定の措置を行うよう、または行わないよう要望する行為のことです。



意見書ってなに？

議会がその意思を意見としてまとめ、国会や関係機関に提出するものです。請願や陳情の願意に沿ったものや、議員発案で提案されるものがあります。

<義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情、意見書>

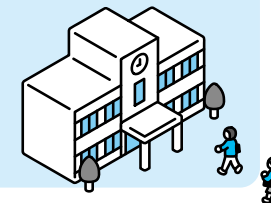
賛成多数で可決

長野県教職員組合諏訪支部から提出された陳情は、義務教育費国庫負担を維持するとともに、H18 年度に 1/2 から 1/3 に引き下げられた国負担の割合を元に戻すことを求める内容です。自治体間の差をなくし、子どもたちが、全国のどこに住んでいても、同じ水準の教育を受けられることを要望する内容です。

陳情採択を受けた意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

反対 「学習指導要領」で教育の一定水準は確保しており、自治体格差はあって当然。

賛成 全国どこに住んでいても同じ水準の教育が提供される教育環境作りのための制度維持は必要不可欠。

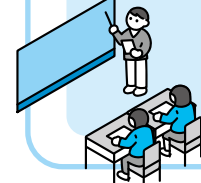


<さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保を求める陳情、意見書>

賛成多数で可決

反対 少人数学級が教育の質や学力向上につながるとは、一概には言えない。今の制度の中で教育の質を高めることが必要。

賛成 少人数学級の効果は全国に先駆けて実施した長野県において実証済み。児童・生徒に十分に目の行き届く環境整備が必要。



長野県教職員組合諏訪支部から提出された陳情は、どの子にも行き届いた教育をするため、国の責任で①さらなる少人数学級の推進②複式学級の学級定員の引き下げ③教員基礎定数算出に用いる「係数」の改善の3点を検討し、必要な予算確保を求める内容です。

陳情採択を受けた意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

<「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める陳情、意見書>

賛成少数で否決

長野県教職員組合諏訪支部から提出された陳情です。「カリキュラム・オーバーロード」とは、国の教育課程基準にもとづき、学校が定めた教育課程の時数と内容が過多になり、子どもや教職員の負担になっている状態を指します。子どもたちの豊かな学びを保障するため、この状態の早期改善および学習指導要領の内容の精選等を国に求める内容です。

委員会での陳情採択を受けた意見書案が、竹元完奈議員から提案されました。

反対 教員の多忙は授業時数によるものではなく、周辺業務によるもの。授業時数を減らすことで家庭の教育資源に乏しい子どもにとっての学びの場を削ることになってしまう。

賛成 「カリキュラム・オーバーロード」の状態は、正常な発達に影響し、考える力が身につかないなどの弊害がある。教員にとってはオーバーワークとなる。改善を図るべき。

